

北海道の土砂災害に関する緊急セミナー

主催：寒地土木研究所 協力：日本気象協会・北海道立総合研究機構地質研究所・室蘭工業大学・北海道大学

日時

平成26年**12月4日**(木) 15:00～17:30

場所

寒地土木研究所 1階 講堂

定員

30名(先着順)

費用

無料

近年、北海道内では毎年のように土砂災害が発生しており、社会生活に甚大な影響を与えています。平成26年度は、8月に道北において豪雨による土砂災害が発生し、礼文町では2名のかたが亡くなりました。また、9月には札幌市から支笏湖にかけての豪雨により、札幌市民が大きな影響を受けるとともに、恵庭岳東麓からの土石流災害で国道453号線が寸断されました。

本セミナーは、このような土砂災害に対する関係機関の取り組みについて話題提供と情報交換を行い、防災・減災に資することを目的としています。

プログラム

15:00 開会挨拶 寒地土木研究所 地質研究監 伊東佳彦

15:05-16:25 報告①：8月の稚内・礼文災害

1) 8月～9月の豪雨の概要について

日本気象協会北海道支社 防災対策室長：松岡直基 (10分)

2) 災害対応・調査の概要について

寒地土木研究所 地質研究監：伊東佳彦 (10分)

北海道立総合研究機構地質研究所 主査：石丸聡 (20分)

寒地土木研究所防災地質チーム 主任研究員：矢島良紀 (20分)

室蘭工業大学 教授：中津川誠、同准教授：川村志麻 (20分)

16:25-16:35 休憩

16:35-17:15 報告②：9月の支笏土石流への対応・調査の概要について

1) 寒地土木研究所防災地質チーム 上席研究員：倉橋稔幸 (20分)

2) 寒地土木研究所 研究連携推進監：藤浪武史 (20分)

17:15-17:30 報告③：1981年の札幌水害の概要

寒地土木研究所 特別研究監：吉井厚志 (15分)

17:30 閉会

お申込み方法

件名を「土砂災害セミナー参加希望」とし、必要事項（氏名、所属、連絡先（電話番号・メールアドレス））を記載の上、下記までメールでお申し込みください。

お申込み・お問合せ先：

(独) 土木研究所 寒地土木研究所 防災地質チーム 矢島

E-mail geohaza@ceri.go.jp TEL：011-841-1775 FAX 011-842-9173